



大賞 100 万円！

ジャーナリズムの壁を突き破る創造的な取り組みを応援します！

第1回「ジャーナリズム X(エックス)アワード」公募開始！

問題解決の道をひらく優れた【コンテンツ】

情報伝達・交換を活性化する【プラットフォーム】に期待

公募期間: 2019年12月24日～2020年3月17日

営利・非営利・個人・団体を問わず、日本のジャーナリズムが本来の力を発揮するために、プロジェクト助成と組織基盤支援などを目的として2019年3月に発足した「ジャーナリズム支援市民基金」(任意団体)は、そのスタートアップ事業として第1回「ジャーナリズム X(エックス)アワード」の公募を開始しました。

【本アワードの特徴】

既存のジャーナリズム賞同様、隠された問題を掘り起こす調査報道や、地道な取材活動を積み重ねた記事・書籍など内容・コンテンツ【中身】を評価するとともに、社会訴求や相互コミュニケーションのための媒体・プラットフォーム【器】も評価対象とし、それら両面のいずれか、あるいは両面のシナジー(相乗効果)を実現した取り組み成果の応募を呼びかけます。

【第1回ジャーナリズム X(エックス)アワード概要】

◆応募対象

自薦・他薦を問わず、またアマ・プロも年齢・国籍も問わず、フリーランスや学生を含む個人、非営利組織、民間企業など、何かを伝え共有して自由に公正な社会を実現しようとするすべての人と団体が応募できます。ただし、政府機関・政府関連組織は対象外。

◆活動対象

1)対象となる分野

日本で自由に公正な社会を創るために必要なジャーナリズムであり、「中身(内容・コンテンツ)」と「器(媒体やプラットフォーム)」両面のいずれかにおける注目すべき取り組み、または両面のシナジー(相乗効果)を実現した取り組み、を対象とします。

2)対象となる期間

2019年1月1日から12月31日の間に発表された成果物、その期間に実施された取り組み、あるいは利用可能な形で公開された仕組みや機能(アプリ等を含む)など、様々な切り口の応募をお待ちします。

◆賞と賞金について

ジャーナリズム X 賞(大賞 1 件)賞金 100 万円

ジャーナリズム Y 賞(次点 1 件)賞金 30 万円
ジャーナリズム Z 賞(審査員奨励賞 1 件)賞金 10 万円

◆公募期間

2019 年 12 月 24 日 公募開始
2020 年 3 月 17 日 募集締切

◆外部選考委員

- ・田口一成(株式会社ボーダレス・ジャパン代表取締役社長)
 - ・林怡夔(立教大学社会学部メディア社会学科准教授)
- ※他 1 名交渉中

【受賞対象想定例】

- ・ 既得権益などによって隠された問題を掘り起こす調査(探査)報道
- ・ 社会問題について市民が自ら考え、行動を起こそうとする意識を育て合うための操作性に優れたアプリ、データベース、オンラインプログラム
- ・ 各地の市民アクションをつなぎ、活動の実効性を高めるプラットフォーム
- ・ 書籍や報告書の刊行と、内容の社会訴求と、取り上げられた課題の解決とを一体的・有機的に組み合わせて成果を生み出す試み

【背景】

SNS などにより、マスメディアに頼らなくても市民同士が情報を伝達・交換し、行動へつなげることが可能となった現在、情報の受信側と発信側の双方に努力と工夫が必要になってきています。こうした中、ジャーナリズムには権力を監視し、市民に事実を知らせるという伝統的な役割に加えて、市民の力を強め、連帯(ネットワーク)や主体的行動のきっかけを作るといった、これまでにない機能や要素も求められるようになりました。

新しい時代に、健全なジャーナリズムが力をつけていくためには、その中身(内容・コンテンツ)と器(媒体やプラットフォーム)の両面で進化／深化が必要不可欠と考え、その両面を取り上げられるアワードを創設しました。

▼「ジャーナリズム X(エックス)アワード」ウェブサイト(詳細、エントリーフォームなど)
<https://jxaward.com/>

▼Facebook
<https://www.facebook.com/journalismXfund/>

【一般の方からのお問い合わせ先】

info@jxaward.com (担当: 美濃部)

【主催団体】

ジャーナリズム支援市民基金は、「自由で公正な社会を創るジャーナリズムを市民が応援する」ことを目的・目標として、2019 年 3 月に設立されました。営利・非営利・個人・団体を問わず様々な形のジャーナリズムが本来の力を発揮するために、本アワードに加え、プロジェクト助

成と組織基盤支援などを今後の事業予定としています。

■運営幹事

- ・星川淳(代表幹事/一般社団法人アクト・ビヨンド・トラスト代表理事、作家・翻訳家)
- ・大津愛梨(O2Farm 渉外・六次産業化部長、NPO 法人田舎のヒロインズ理事長、里山エナジー株式会社代表取締役社長、一般社団 GIAHS ライフ阿蘇理事)
- ・奥田裕之(未来バンク理事)
- ・関本幸(NGO 広報・コミュニケーション)
- ・寺中誠(東京経済大学教員)

■運営アドバイザー

- ・大高健志(MOTIONGALLERY 代表、POPCORN 共同代表、さいたま国際芸術祭キュレーター、映画プロデューサー)
- ・鈴木菜央(NPO グリーنز代表、greenz.jp 編集長)

活動について

- ・ 基金のスタートアップ事業として、ジャーナリズムの壁を突き破る創造的な取り組みを応援する「ジャーナリズム X(エックス)アワード」を創設・運営します(エックスは未知の X、Next の X、Crossover の X、Experiment の X など)。
- ・ 十分な準備と財源調達後の第二段階として、プロジェクトベースで応募企画を支援する助成プログラムを始めます。

【アワードに関する取材依頼・お問い合わせ】

ジャーナリズム支援市民基金(担当: 河野)

TEL: 090-8646-2329 / メール: info@jxaward.com